

## 三朝温泉に於ける湯治概況調査

岡山大学温泉研究所内科 (指導: 森永 寛教授)

涌谷卓伯  
松本欣之  
山本泰久

鳥取県三朝温泉は世界有数の放射能温泉で現在約70の源泉を有しており、昭和30年7月、厚生省指定保養温泉地<sup>1)</sup>となり、温泉療養者の収容を主とする旅館を保養旅館と名づけているが、現在13軒あってその収容能力は255名である。

我々は三朝温泉に於ける温泉療養者の実態を把握する目的で調査を行った。

### 調査方法

我々は 東北大温研、杉山教授発表の方法<sup>2)</sup> にならって (第1表) 昭和32年2月第1回の湯治者一斉調査を行った。医員が巡回し

第1表 温泉療養(湯治)調査表

氏名		男女	才	職業	旅館名	
住所	県	市郡	町村	番地		
来目湯的	1. 病気治療    3. 静養    5. その他(詳しく) 2. 病后保養    4. レクリエーション(農休み)					
病何気治療病ならか	1. 胃疾患    6. 高血圧    11. 肺浸潤    16. 性病 2. 腸疾患    7. 心臓病    12. ぜんそく    17. 血液病 3. 肝臓病    8. 半身不随    13. 気管枝炎    18. 皮膚病 4. 神経痛    9. 腎臓病    14. 婦人病    19. その他 5. リウマチ    10. 肋膜炎    15. 外科の病気					
湯治の回数	.....月.....日から.....月.....日まで.....日間					
湯回治の数	1. 初めて    3. 前には.....温泉 2. ....回目    .....温泉					
入回浴の数	1日に.....回 { 午前.....回    夜.....回 午後.....回    夜中.....回					
飲の(みゆ)泉	1. している    しておれば { 1日.....回のむ(1回に.....合) 2. していない    入浴の度毎にのむ					
来動湯の機	1. 医師の指導で    4. 新聞雑誌をよんで 2. まわりの人にすすめられて    5. 知っている人が居るから 3. 自分の経験で    6. その他					
効(き)果(くち)	今の湯治で効果が(1. あった    理由(    2. ない					
湯ゆあ中たり	あった { 1. 食思不振(食がすまない)    7. 頭痛(あたまがいたい) 2. 全身倦怠(だるい. こわい)    8. めまい 3. 便秘(大便が2, 3日ない)    9. ねむれない ない { 4. 下痢(1日.....回位)    10. 患部再発(昔患った病気が悪くなった. いたくなくなった) 5. 腹痛(はらいた)    11. その他 6. 皮膚炎(ただれ)					

その他	1. 湯治に来てよかったと思うか 2. 来年も来たいと思うか
皆の希望	今后旅館, 治療相談医師, その他に希望することがら.
備考	1. この調査は皆さんの湯治方法をどうしたらよいか, しらべるのですから, 出来るだけ真面目に詳しく, 記入して下さい. 2. 必ず自分がやっていること, 又はやつてきたことを書いて下さい. 3. 各項目の番号に○印又は.....のところに記入して下さい. 4. わからないところはいつでも聞いて下さい.

岡山大学温泉研究所

て記入上の指導, 援助を行い, 可及的多く且つ正確に記載せしめる様努力し, 又血圧をも測定して之を集計した.

調査成績

調査時の湯治者数は85名であった.

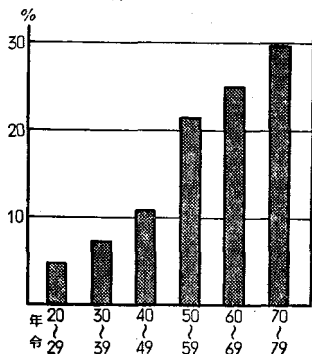
1. 年令別, 性別集計.

男女共 50才以上がその大部を占め全体の78%となっている. 女性がやゝ多く54%であった(第2表, 第1図).

第2表 年令別, 性別

年令	男	女	計
20~29	0	4	4
30~39	4	2	6
40~49	4	5	9
50~59	6	12	18
60~69	11	12	23
70~79	14	11	25
計	39	46	85

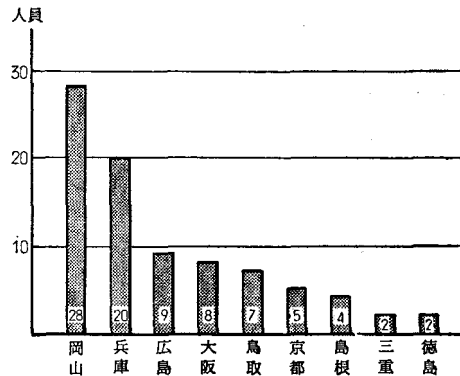
第1図



2. 府県別集計.

岡山が第1位を占め, 次いで兵庫, 広島, 大阪となり, 鳥取県は県内に療養温泉を数多有するためか第5位となっている(第2図).

第2図 府県別



3. 職業別集計.

農業が約半数を占め, 次いで商業, 無職の順であった(第3表).

第3表 職業別

職業	人	%
農業	43	50.6
商業	20	23.6
無職	17	20.0
事務員	3	3.5
その他	2	2.3
計	85	

## 4. 来湯回数.

はじめて来湯するものが45%で2~4回(2回目26%, 3~4回目20%)の来湯者46%と略々同率であった(第4表).

第4表 来湯回数

回	人	%
はじめて	38	44.7
2回目	22	25.9
3	6	7.0
4	11	12.9
5	4	4.7
6	2	2.4
10	1	1.2
20	1	1.2
	85	

## 5. 来湯目的.

疾病治療並に病后保養に来湯しているものが全体の78%であった。即ち湯治者の約8割は何らかの疾病を有し、その温泉治療を求めて来湯しているものと考えられるのである(第5表).

第5表 来湯目的

目的	人	%
病氣治療	54	65.0
病后保養	11	13.3
静養	16	19.3
その他	2	2.4
	83	

## 6. 来湯動機.

人にすすめられ、又は自分の経験で来湯したものが夫々38%, 34%計72%で、大部分を占めているが、又他方、医師にすすめられて来湯したのも15例(18%)で、杉山教授等<sup>2)</sup>の鳴子温泉湯治者の調査成績よりも多かった(第6表).

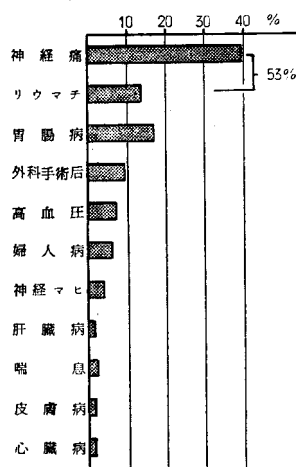
第6表 来湯動機

医師の指導で	15	18.3%
人の話して	31	37.8%
自分の経験で	28	34.2%
新聞・雑誌	5	6.1%
その他	3	3.6%
計	82	

## 7. 疾患別統計.

神経痛, リウマチ, 及び胃腸病(17%)が多く、神経痛とリウマチとを合すると53%となる。高血圧者の静養も7%に見られた(第3図).

第3図 疾患別



即ち、三朝温泉はその泉質から当然のことながら湯治者の愁訴によって疾患の分類を行うならば、いわゆるリウマチ性疾患と、消化器病がその大半を占め、後述の如く自覚的な湯治効果と併せ考えれば、かゝる疾病に良効を示すことが窺われるのである。

尚、湯治者の血圧測定を行った成績は、収縮期圧160mmHg. 以上のもの男, 38% 女, 31% 平均37%であって(第7表)、一般外来患者についての統計では414例中98例(即ち24%)が高血圧を示したのにくらべ、湯治者には高

血圧症例が多いことが考えられるのである。

8. 湯治日数.

第 7 表

血 mm 圧 Hg.	男	女	計
~159	20	27	47
160~179	6	7	13
180~	6	5	11
計	32	39	71

男: 12/32=37.5%  
女: 12/39=30.8%

10日内外のものが42%を占めているが、又温泉治療に必要と考えられている3週間以上滞在するもの(滞在予定者を含む)も31%に認められた。平均湯治日数は15.8日であった(第8表、第4図)。

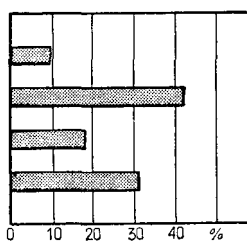
9. 1日の入浴回数.

4~5回入浴するものが最も多く57%であった。平均入浴回数は4.5回であった(第9表、第5図)。

第8表 湯治日数

日 数	人	%
4~7日	8	9.5
8~14日	35	41.6
15~20日	15	17.9
21日以上	26	31.0
計	84	

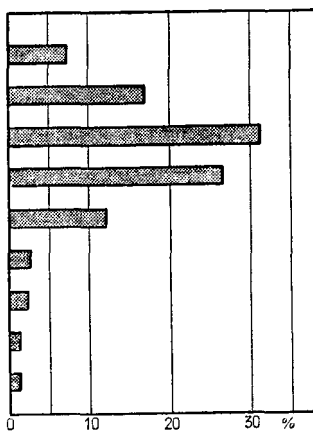
第 4 図



第9表 1日の入浴回数

回	人	%
2	6	7.1
3	14	16.6
4	26	31.0
5	22	26.2
6	10	11.9
7	2	2.4
8	2	2.4
9	1	1.2
10以上	1	1.2
計	84	

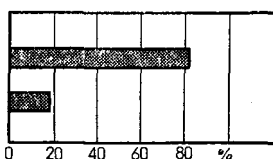
第 5 図



第 10 表

飲 泉	人	%
している	66	81.5
いない	15	18.5
計	81	

第 6 図



10. 飲泉

飲泉をしているもの66例(81.5%)で、していないと回答したものは15例(18.5%)であった。三朝温泉は比較のみ易いためと思われる。飲用回数は入浴の度毎にのむというものが多く、且つ1回量はコップ1杯程度というのであった(第10表、第6図)。

11. 湯あたり.

大島教授等は昭和23年、岡大放射能泉研究所並に国立三朝療養所入院乃至外来患者中湯治を行い得たものにつき調査し、湯中りは48.5%に認められたと述べている。<sup>3)</sup> 今回の調査で、湯中り症状のあったというものが41%なしと回答したものが36%、不明22%となっているが、不明の19例は

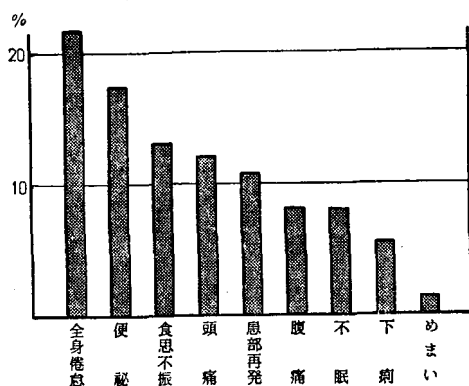
調査日の数日前に来湯したものがその大部分であると思われるので之を除外した66例について調べると、約半数の53%に湯中りが認め

られ(第11表)その症状は全身倦怠, 食思不振, 頭痛, 患部再発等であった(第7図)。即ち, 三朝温泉湯治によって約半数に湯中りが認められる。湯中りの認められたものは平均1日5回の入浴を行っており, 認めない者の入浴回数は4.1回であった。即ち浴回数の多いものに湯中りの現われ易い傾向がみられるが, 推計学的に有意でない。又, 湯中り症状を認めたものの中で飲泉を行っているものは28/35, 80%であり, 湯中りの認められなかった者で飲泉を行っているものは22/31, 71%であった(第12表, 第8図, 第13表)(有意ならず)。

第11表 湯あたり

湯あたり	人	%	
あつた	35	41.2	(53%)
ない	31	36.4	(47%)
	(66)		
不明	19	22.4	
計	85		

第7図 症状百分率



第13表 1日の飲泉の回数と湯あたり

回	0	1	2	3	4	5	浴の度毎	
+	7	4	2	4	2	4	12	28/35=80.0%
-	9	1	3	5	2	11		22/31=71.0%

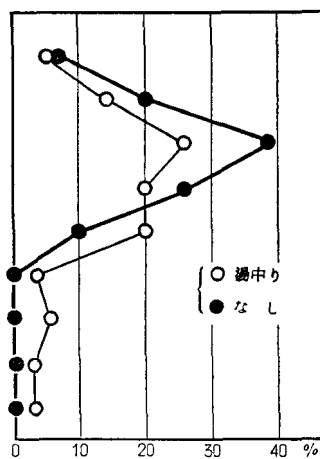
12. 湯治効果.

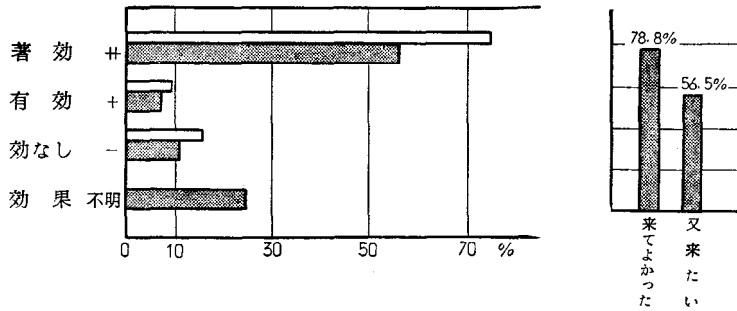
湯治効果があったと回答したものの54例 (64

第12表 1日の浴回数と湯あたり

回	湯中り	
	+	-
2	2	2
3	5	6
4	9	12
5	7	8
6	7	3
7	1	
8	2	
9	1	
10以上	1	
例	35	31
平均	5.0回	4.1回

第8図





第14表 湯治効果

効果	人	%	
あり	++	48	56.5
	+	6	7.1
			75.0
			9.4
			84.4%
なし	54		
	10	11.7	15.6
不明	64		100.0
	21	24.7	
	85	100.0	

いものもあるので之を除外した64例につき調べると著効75%有効9%計84%となり約8割は湯治効果を認めている(第14表)。又、来湯してよかったと回答したものの79%、又来たいとの希望者が57%にみられた。

結 言

昭和32年2月に行った三朝温泉湯治者の一斉調査の成績を報告した。今后引続いて概況調査をする予定である。

%), なし10例(12%), 不明21例(25%)であるが、不明の21例は調査時、湯治日数の少

本報告の要旨は昭和32年4月4日第22回日本温泉気候学会総会の席上発表した。

主 要 文 献

1. 厚生省国立公園部編: 温泉必携 15, 昭32.
2. 杉山尚他: 日温気誌 20 (1), 55, 昭31.
3. 大島良雄他: 医学と生物学 13 (3), 168, 昭22.

General Survey of the Spa Treatment at Misasa Spa,  
Tottori Prefecture

Tohaku WAKUTANI, Kinshi MATSUMOTO  
and Yasuhisa YAMAMOTO

Division of Internal Medicine, Balneological Institute,  
Okayama University

(Director: Prof. Dr. H. MORINAGA)

Misasa Hot Spring is one of the most famous radioactive hot springs in Japan. A general survey of the spa treatment at Misasa Spa was carried out in February, 1957. The informations we have gathered may be summarized as follows:

- 1). The number of the spa visitors seeking for curative treatment was almost equally divided between men and women and the majority of the spa visitors was over 50 years old.
  - 2). 65% of the spa visitors came to this hot spring with the specific purpose of balneotherapy. 19.3% came for rest, 13.3% for the purpose of after-care.
  - 3). Those who visited Misasa Spa for the first time were 44.7%, the rest being those who visited this spa over 2 times. 18.3% of them had consultation with or were under the direction of a physician.
  - 4). The length of time they stay at this spa for curative treatment:  
41.6% of the spa visitors stay for 8~14 days, 17.9% of them 15~20 days and 31% of them over three weeks.
  - 5). About 74% of the spa visitors bathe 3 to 5 times a day for curative treatment, and 82% of them drink hot spring water.
  - 6). Symptoms of bathing reaction such as generalised fatigue, constipation, loss of appetite, joint pain, abdominal pain and so on were observed in 50% of the spa visitors.
-